

記事を読んで、問いに答えなさい。

2021年8月10日朝刊

御前崎の団体

戦争遺産 市民に語り継ぐ

射場「観的所」に説明板



説明板が設置された旧陸軍遠江射場の観的所
 〓 御前崎市池新田

戦後76年
しずおか
 遠江射場は砲弾の試し撃ちをする施設で、1938年頃から終戦まで、旧三浜村（現掛川市）から旧白羽村（現御前崎市）までの海岸に存在した。西端に発射地点があり、

御前崎市の市民団体「ふるさとの自然を守り隊」（山下洋子代表）は、同市池新田に残る旧陸軍遠江射場の観的所（かんできじよ）に説明板を9日までに設置した。戦争遺産として市民に存在を語り継いでいく。

東に向かつて一定の間隔で、着弾点を確認するための観的所があったとされる。同団体会員の沖誠さん（86）〓同市塩原新田

〓は「おなかに響くような砲弾の音は今でも覚えている。あの頃は地元の人間でも海岸には近づけなかつた」と回想する。池新田の観的所は戦後の一時期、農業者や漁師らが休憩所に使ったとされるが、その後は放置状態だった。会員は昨年頃から周辺に生い茂った高さ2〜3メートルの竹を刈り取り、内部の大量のごみを撤去したりして保存活動をしてきた。山下代表（75）〓同市塩原新田〓は「平和への願いを込めて作業をしてきた。来年にはサクラを植える。市民が気軽に来られる場所になれば」と話す。
 （御前崎支局・木村祐太）

①御前崎市池新田に残る旧陸軍遠江射場の観的所とは、どのような施設だったのか。説明しなさい。

②御前崎市の市民団体が取り組んだ観的所の保存活動は、どのような取り組みだったのか。説明しなさい。

③近年、戦争遺産を後世に伝えていくことが、戦争体験世代の高齢化とともに難しくなりつつある。戦争遺産を後世に伝えていくための方法を、記事を参考にしながらあなたの考えを述べなさい。

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2021年8月10日朝刊

御前崎の団体

説明板が設置された旧陸軍
遠江射場の観的所
――御前崎市池新田



戦争遺産 市民に語り継ぐ

射場「観的所」に説明板

御前崎市の市民団体「ふるさとの自然を守り隊」（山下洋子代表）は、同市池新田に残る旧陸軍遠江射場の観的所（かんできじよ）に説明板を9日までに設置した。戦争遺産として市民に存在を語り継いでいく。

戦後76年
しずおか

遠江射場は砲弾の試し撃ちをする施設で、19

38年頃から終戦まで、旧三浜村（現掛川市）から旧白羽村（現御前崎市）までの海岸に存在した。西端に発射地点があり、

東に向かって一定の間隔で、着弾点を確認するための観的所があったとされる。同団体会員の沖誠さん（86）は「おなかに響くような砲弾の音は今でも覚えている。あの頃は地元の人間でも海岸には近づけなかつた」と回想する。

池新田の観的所は戦後の一時期、農業者や漁師らが休憩所に使ったとされるが、その後は放置状態だった。会員は昨年頃から周辺に生い茂った高さ2〜3メートルの竹を刈り取ったり、内部の大量のごみを撤去したりして保存活動をしてきた。山下代表（75）は「同市塩原新田は『平和への願いを込めて作業をしてきた。来年にはサクラを植える。市民が気軽に来られる場所になれば』と話す。」

（御前崎支局・木村祐太）

①御前崎市池新田に残る旧陸軍遠江射場の観的所とは、どのような施設だったのか。説明しなさい。

（例）1938年から終戦までに存在した、砲弾の試し撃ちをして発射地点から着弾点を確認するための施設。

②御前崎市の市民団体が取り組んだ観的所の保存活動は、どのような取り組みだったのか。説明しなさい。

（例）観的所周辺に生い茂った竹を刈り取ったり、内部の大量のごみを撤去したりしたこと。

③近年、戦争遺産を後世に伝えていくことが、戦争体験世代の高齢化とともに難しくなりつつある。戦争遺産を後世に伝えていくための方法を、記事を参考にしながらあなたの考えを述べなさい。

（例）戦争遺産として残るような施設の周辺にサクラなどの樹木を植え、市民が気軽に来られるような場所に整備することで、戦争遺産を日常の風景の中の一つとして取り込んでいくこと。

年 組 名前